

3人のチームワークと笑顔 で念願の日本一！世界一！



野木久美子さん(18歳・桜町)
大河内美希さん(18歳・桜井町)
松原由佳さん(19歳・池浦町)

3月まで在学していた安城高校で、全国きもの装いコンテスト世界大会に参加。学校対抗の部で第1位に輝く。

■どのようなコンテストですか？

3人一組で、約5分以内に自分たちの振り袖を着装します。その際の着こなしや振る舞いや帯結びの仕上がりなどを競います。



大河内美希さん

ただし一人がうまくできてもためて、3人が呼吸を合わせて行わなければなりません。そこが難しいところですね。今回1位になったのは、その3人のチームワークの良さがどこよりも出せたからだと思います。

■自信はありましたか？

偶然にもエントリナーンバーが中部地区大会で優勝した時と同じ「6」だったので、もしかしたらいいことがあるかも。この部門で高校生が1位になったことはなかったので、まわりには入賞が目標だと言っていましたけど、実は密かに優勝も狙っていました。

■着付けを始めたきっかけは？



松原由佳さん

高校の先輩にあこがれて今回のコンテストでの振り付けも、そうした先輩から

筆者のつぶやき

大学生が圧倒的に上位を占めていた同コンテストの学生対抗の部で、高校生としては初となる第1位の快挙。取材で、写真撮影やインタビューをしている間にもひしひしと伝わる、3人のチームワークの良さがその原動力であることは間違いありません。そして3人の笑顔も.....



野木久美子さん

受け継いだものに、自分たちのオリジナルを加えてのぞみました。
■現在皆さん高校を卒業されて新たな一歩を踏み出されました。今後は？
これからは、ずっと続けていきたいです。そして、お免状をとってたくさんの人に着せてあげられるようになりたい。
大会前の3か月くらいは、夕方から9時くらいまで毎日のように練習をしていましたので、今は少しゆとりしたいですね。どこかへお出かけしたりこの振り袖姿で京都とか歩いてみたいです。

コンテストを通じて舞台に立つことにも慣れ、楽しく感じられるようになりました。もし、機会が与えられれば、また3人集まって、ぜひ皆さんにお見せしたいと思っています。